

平成 23 年度 事業計画

【基本方針】

北九州ロボットフォーラムは、産学官で構成する北九州市のロボット産業振興のためのプラットフォームとして下記の活動を行う。

- ①導入可能なロボットやロボット技術の研究開発支援
- ②開発・実証段階を経たロボットについての実用化・事業化支援
- ③人材育成の推進と情報発信・交流の促進

【平成 23 年度事業】

1 会議の開催

(1)総会の開催

平成 23 年 6 月 23 日(木) 西日本総合展示場

(2)セミナーの開催

総会、産学連携フェアに併せて、ロボットや関連技術に関するセミナーを開催する。

2 研究開発の支援

北九州市で生まれたロボットが実際に導入され、製品化・商品化につながるように、市場を見据えた研究開発プロジェクトを促進する。ユーザーとのマッチングや国等の研究開発助成の獲得支援など、コーディネート活動を行う。

(1)市内発ロボット創生事業

市内発ロボットフォーラムとの連携を深めるため、開発テーマを広く北九州ロボットフォーラムの会員からも募集する。北九州市内でのロボットニーズ調査から試作品づくり、事業化支援までを、トータルにサポートすることにより、新たなプロジェクトの立上げやニーズに応じた開発を支援する。

(2)助成プロジェクトの立ち上げ支援

市内外、企業・大学を問わず助成プロジェクトの申請支援や実施体制形成に関する支援活動を実施する。

3 実用化・事業化支援

これまで北九州ロボットフォーラムおよび(財)北九州産業学術推進機構として関連して試作したロボットの実用化へ向けた課題解決や事業化への支援を実施する。支援対象のロボットは以下のとおり。

- ・トマト収穫ロボット(平成 21～22 年度 中小企業産学官連携研究開発助成事業)
- ・静脈血栓症予防のための小型下肢運動補助ロボット
- ・医療用上肢リハビリロボット(平成 21 年度市内発ロボット創生事業)
- ・もぐりんこ(株)石川鉄工所製品化済)
- ・平準化を目的とした大腸内視鏡ロボット(平成 22 年度 FAIS シーズ技術探索)

4 人材育成の推進

人材育成の一環として北九州学術研究都市の学生を中心に活動しているロボカップチーム(サッカー中型リーグ、@ホーム)を支援する。

国際的なロボット競技「ロボカップ」に参加している北九州学術研究都市の学生等からなる合同チームに対し、技術的な助言・サポートや活動場所の確保などの支援を行う。また、各種展示会やイベント等への参加支援を行う。

5 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報やフォーラムの活動を積極的に発信する。

(1) 展示会の開催

6月23日(木)～25日(土) ロボット産業マッチングフェア北九州(西日本総合展示場)

(2) 展示会への出展

6月23日(木)～25日(土) ロボット産業マッチングフェア北九州(西日本総合展示場)

10月19日(水)～21日(金) 産学連携フェア(北九州学研都市)

11月9日(水)～12日(土) 国際ロボット展2011(東京ビッグサイト)

(3) フォーラムのPRの推進

各展示会や会議等への出展のほか、ホームページやニュースレター(4回発行/年)による情報発信により、市内外に広くフォーラムの活動を発信する。

以上